

セミナー「生命保険の仕組みー預貯金との対比ー」

2006年12月2日(土)(財)生命保険文化センター

スライド1

生命保険の仕組み

預貯金との対比

2006年12月2日(土)

生命保険文化センター

スライド2

貯蓄と保障(表)

	主な目的	典型的な手段
貯蓄	目標額を貯める (教育資金、住宅購入資金など)	預貯金 (定期預金、郵便貯金など)
保障	経済的リスクに備える (入院、稼ぎ手の死亡、事故など)	保険 (健康保険、生命保険、損害保険など)

スライド3

保険の仕組みー問題

◆問題(仮定)

- ・健康な40歳男性が1,000人いる。
- ・1年間に死亡した人の遺族が、生活資金として1年後に1,000万円を確保できる仕組みを考える
- ・1年間に2名が死亡すると仮定する。
- ・預貯金で備えるには?
- ・保険で備えるには?

セミナー「生命保険の仕組みー預貯金との対比ー」

2006年12月2日（土）（財）生命保険文化センター

スライド 4

回答：預貯金の仕組みで備える

- ◆それが万一に備えて、1年間に1,000万円を貯める。
- ◆死亡した場合には貯めた1,000万円を遺族の生活資金とする。

スライド 5

回答：保険の仕組みで備える

- ◆保険
 - ・加入者1,000人が2万円を保険料としてファンドに支払う。（計2,000万円）
 - ・1年後に、死亡した2名の遺族にそれぞれ1,000万円を支払う。（計2,000万円）
- （全員が少額の出費で済む。）

スライド 6

保険のイメージ

$$\text{保険料 } 2\text{万円} \times 1,000\text{名} = 2,000\text{万円}$$



死亡保険ファンド



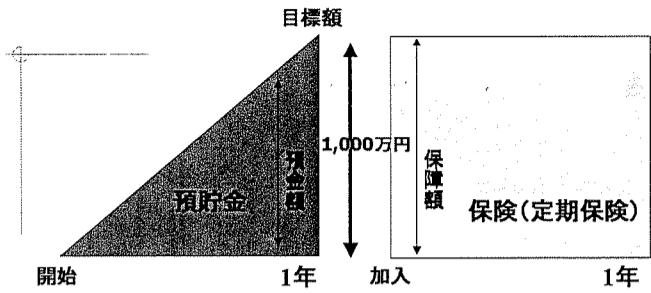
$$\text{死亡者 } 2\text{名} \times \text{保険金 } 1,000\text{万円} = 2,000\text{万円}$$

セミナー「生命保険の仕組みー預貯金との対比ー」

2006年12月2日(土)(財)生命保険文化センター

スライド
7

預貯金と保険のイメージ



- ・貯蓄とみた場合：預貯金は、累計が貯蓄額となるので断然有利。保険は、2名が計2,000万円を受け取るが、998人には戻らないので貯蓄額は0円。
- ・保障とみた場合：預貯金はそのときの預金額が保障額。保障費用は預金額と同額なので高価。保険は当初から保障額1,000万円が確保でき、保障費用は2万円と安い。

スライド
8

保険の仕組みー原理

$$\cdot \text{保険料} \times \text{加入者数} = \text{事故件数} \times \text{保険金}$$

変形すれば

$$\cdot \text{保険料} = \frac{\text{事故件数}}{\text{加入者数}} \times (\text{発生確率}) \times \text{保険金}$$

- ・なぜ年齢とともに保険料が高くなるか。
- ・なぜ告知や医師の診査が必要か。
- ・なぜ目的に応じて保険の種類が異なるのか。

スライド
9

銀行の役割



銀 行(口座)

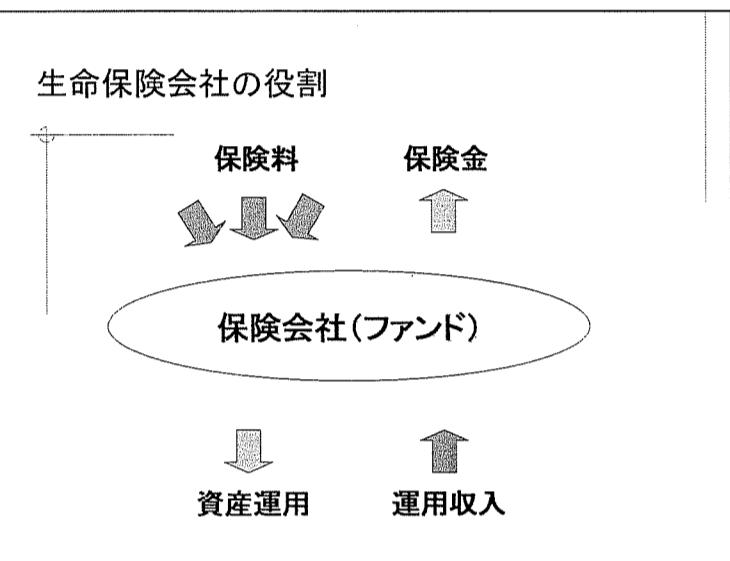
↓ ↑
資産運用・為替など 運用・手数料収入

セミナー「生命保険の仕組みー預貯金との対比ー」

2006年12月2日(土)(財)生命保険文化センター

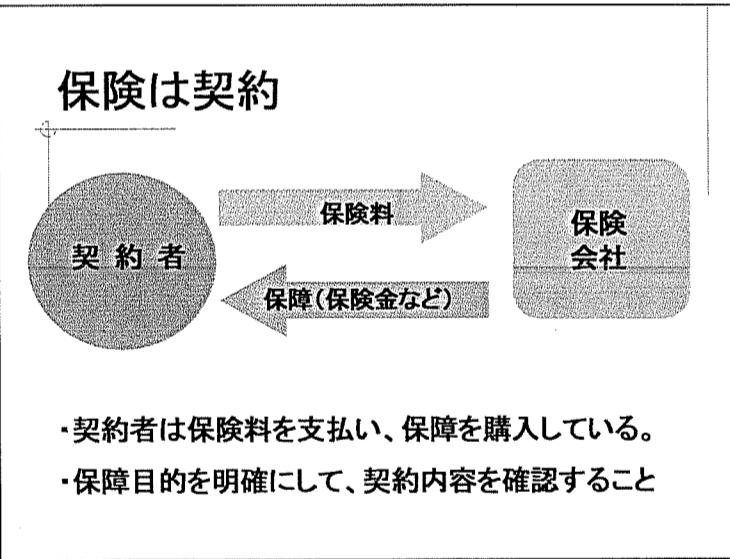
スライド

10



スライド

11



スライド

12

